




愛玩鶏を含む家きん飼養者の皆様へ

高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）が大流行しています！！

- 11月25日に国内1例目が佐賀県で確認されて以来、4県で発生し、多くの家きんが殺処分されています。
- 12月12日に米原市で採取した野鳥の糞便から、HPAI ウイルスが検出されており、身近な野鳥が感染している可能性があります。
- 本病に感染しても治療方法はなく、同居の家きんは殺処分の対象になります。

- ◇ ウイルスを一定量以下まで減らすことで感染を防ぐことができます。
- ◇ 家きんのお世話の際には、HPAI ウイルスを持ち込まないように、ご自身や鶏舎周辺の消毒を行いましょう。

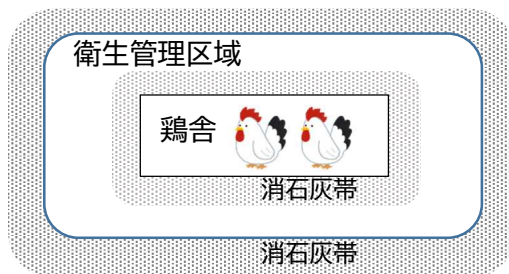
HPAI に有効な消毒薬

手指、ケージ等の消毒	広い面積の散布消毒	地面などの消毒
市販のハンドスプレー 	蓄圧式噴霧器 	消石灰 ✓ 塩素系消毒薬と混入すると効果を打ち消すので併用しないこと。 ✓ 散布時には手袋、マスク、ゴーグル着用のこと。 
✓ エタノール、逆性石けん（塩化ベンザルコニウム（オスバンなど）、塩素系消毒薬等（次亜塩素酸ナトリウム液（ハイターなど））、多くの消毒薬がHPAI ウイルスに有効です。 ✓ 市販の消毒薬は記載通りに水で希釈し用います。 ✓ 汚れがあると消毒効果が薄まるので汚れを落としてから消毒します。		

いずれもホームセンターなどで購入可能です

養鶏農家で行われている消石灰散布「待ち受け消毒」

衛生管理区域と鶏舎の周辺に 0.5～1 kg／1 m²の濃度で1 m幅の散布



- ✓ 消石灰帯を通過したものに付着したウイルスを不活化
- ✓ 消石灰帯に落下したウイルスを不活化
- ✓ 野生動物の忌避効果
- ✓ 雪上の散布でも効果を発揮

※ 雨に濡れて乾くと消毒効果がなくなるので撒きなおす必要があります。

毎月の自己点検をお願いします！

少羽数でも家きんを飼養している方には、飼養衛生管理基準を遵守いただく必要があります。特に重要な下記の項目について、毎月の自己点検をお願いします。

■衛生管理区域出入口

手指消毒、専用服、専用くつ着用

■家きん舎(鳥小屋)

再度の手指消毒

専用くつ着用

■車のタイヤ等の消毒

(車で飼育場所に入る場合)

■ネット、金網等の設置

■ネズミ、害虫対策

10月から5月までの期間、毎月、家畜保健衛生所から自己点検のお願いを送付していますので、ご回答よろしくをお願いします。

家きんとは

鶏(烏骨鶏も鶏です)

あひる(マガモ、ガチョウ、アイガモ、フランスガモを含む)

うずら(ヨーロッパウズラを含む)

きじ(ヤマドリを含む)

だちょう(エミューを含む)

ほろほろ鳥

七面鳥

滋賀県家畜保健衛生所 (担当 川本)

[Tel:0748-37-7511](tel:0748-37-7511)